

## 平成 27 年度公益社団法人鹿児島県栄養士会事業報告

### 1. 事業実施報告

平成 26 年度から始まった生涯教育研修会を平成 27 年度は 9 回実施し、参加者合計は延べ 1,062 名であった。鹿児島県栄養士会主催の研修会は計 7 回、うち伝達講習会を 1 回実施した。参加者合計は延べ 1,399 名であった。多数の会員がすでに生涯教育研修会を受講していることから、希望される講習内容を吟味して今後継続する必要がある。

慢性腎臓病予防に対応出来る管理栄養士を育成するために 27 年度は鹿児島市において慢性腎臓病ネットワークを構築し、鹿児島市慢性腎臓病（CKD）予防ネットワークと連動して研修会などを実施した。また、在宅訪問栄養指導に対応するため、県内の 15 地域に世話人となる担当者を決めて、病院栄養士と福祉施設の栄養士が各地域もしくは地域間で連携可能となるネットワークを構築した。また在宅訪問で必要となる実践的な栄養指導の研修会を実施した。鹿児島県栄養士会スポーツ栄養部会を立ち上げて 19 名が参加している。28 年度以降の活動の準備が整った。

県民公開講座開催は本会の重要な公益事業となっている。平成 27 年度は指宿市において実施された。参加者 415 名に対して、医師と管理栄養士から「ストップ！脳・心血管疾患～鹿児島の傾向と対策」並びに「高血圧予防のための食生活」について分かりやすく紹介された。「管理栄養士によるクッキング講座」は例年通り毎月開催され、合計 255 名の参加数であった。

食生活の改善を促すための講演会、テレビでの料理番組や栄養指導などに述べ 37 名の講師を派遣し、さまざまな機会でも食事と栄養の専門的知識を普及した。

鹿児島県内で開催される食に関係するイベントにおいて JDA-DAT 鹿児島スタッフが備蓄食（ローリングストック）の重要性を紹介した。鹿児島県が主催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加し、自衛隊隊員と共に炊き出しを実施するにとどまらず、避難所を想定した体育館内で避難所における栄養相談演習を初めて実施した。鹿児島県と鹿児島県栄養士会での災害時協定の締結を目指したが、実現には至らなかった。協定締結に向けて両者で準備が進められている。

「栄養 110 番」は毎週水曜日に、歯と口の健康週間、小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間関連行事などに共催者として参加した。その他健康づくりに関する関連団体が主催する数多くの事業へ参加した。

平成 27 年度末の会員数は 845 名であった。平成 28 年度以降も安定した会の活動が継続可能となるように、当会の将来構想を検討することが理事会で確認された。